

■授業の目的

地理歴史科の教育目標、育成すべき資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について学問領域における成果を踏まえて理解し、適切な授業設計ができる力を身につける。

■授業の到達目標

①地歴科の教育目標を理解している。②学習指導要領に示された学習内容について学術的研究成果を踏まえて正しく理解している。③様々な学習指導理論を踏まえて適正な授業設計ができる。

■授業計画

〔前期〕

- 1 社会科・地理歴史科の位置づけ
学習指導要領の変遷と社会科・地歴科の位置づけについて
- 2 教科の目標
学習指導要領における高校地歴科、中学校社会科地理的分野、歴史的分野の目標について
- 3 指導内容・指導上の留意点(1)
中学校社会科地理的分野の内容及び指導上の留意点について
- 4 指導内容・指導上の留意点(2)
中学校社会科歴史的分野の内容及び指導上の留意点について
- 5 指導内容・指導上の留意点(3)
高校日本史A・Bの内容及び指導上の留意点について
- 6 指導内容・指導上の留意点(4)
高校世界史A・Bの内容及び指導上の留意点について
- 7 指導内容・指導上の留意点(5)
高校地理A・Bの内容及び指導上の留意点について
- 8 新課程科目の指導内容・指導上の留意点
新教科歴史総合・地理総合、探究科目の内容及び指導上の留意点について
- 9 学習評価
地歴科における学習評価のあり方について
- 10 教材研究のすすめ方
学問領域における研究成果を取り入れた教材研究のすすめ方について
- 11 発展的な学習
発展的な学習内容の取扱いについて
- 12 中高の各段階を踏まえた指導
児童・生徒の発達段階を踏まえた学習指導について、中高連携の教育計画について
- 13 ICT活用
ICT機器の活用と授業設計について
- 14 関心を高める工夫
生徒の興味関心を高める教材の開発と活用について
- 15 前期の学修の総括
前期のまとめと試験 これまでの学習内容について振り返り、各自の到達度と課題を総括する。

〔後期〕

- 1 中学校における様々な学習形態
中学校におけるアクティブ・ラーニング グループワークやペアワークのすすめ方について
- 2 高等学校における様々な学習形態
高校におけるアクティブ・ラーニング
ジグソー法やワールドカフェの活用について
- 3 学習指導案の作成(1)
学習指導案の作成について (1) 学習指導案の書式や書き方について具体的に学ぶ
- 4 学習指導案の作成(2)
学習指導案の作成について (2) 学習指導案を作成する単元の授業設計をレポートする。
- 5 学習指導案の作成(3)
学習指導案の作成について (3) 学習指導案を作成し、提出する。
- 6 模擬授業演習(1)
授業研究 中学校地理的分野について模擬授業を通して検討する。
- 7 模擬授業演習(2)
授業研究 中学校歴史的分野について模擬授業を通して検討する。
- 8 模擬授業演習(3)
授業研究 高校世界史Aについて模擬授業を通して検討する。
- 9 模擬授業演習(4)
授業研究 高校世界史Bについて模擬授業を通して検討する。
- 10 模擬授業演習(5)
授業研究 高校日本史Aについて模擬授業を通して検討する。
- 11 模擬授業演習(6)
授業研究 高校日本史Bについて模擬授業を通して検討する。
- 12 模擬授業演習(7)
授業研究 高校地理Aについて模擬授業を通して検討する。
- 13 模擬授業演習(8)
授業研究 高校地理Bについて模擬授業を通して検討する。
- 14 授業改善に向けて
授業改善の視点と実践研究の動向把握方法について
- 15 学修の総括
1年間のまとめと試験 1年間の学習内容をまとめ、各自の到達度と課題を総括する。

■授業の方法

前期は講義が中心となるが、各自に学習指導要領の読み込みなどの主体的な学習を求める。またアクティブ・ラーニングやグループワーク、模擬授業など実践的な演習も十分に時間を取って学んでいく。

■予習・復習

毎時、次回の内容に関する事前の調べを求め、終了時にはリアクションペーパーなどで授業のまとめを求める。

■成績評価の方法

試験（小テストも含む）50%、提出物40%、模擬授業や授業への取り組み状況など10%を総合的に評価する。試験後にはフィードバックとして解説を行う。

■教科書・参考書

教科書：文部科学省『中学校学習指導要領』（平成29年告示）『高等学校学習指導要領』（平成30年告示）。

参考書：授業時に指示する。

■関連する科目

「日本史」「外国史」「自然地理学」「地誌」「社会科（公民的分野）・公民科教育法」など